

## 事業所における自己評価結果（公表）

公表:平成 31年 3月 4日

事業所名 第2あづみ園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	0		
	②	職員の配置数は適切である	8	0		
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8	0		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8	0		
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画している	7	1		
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0		
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	5		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	6		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0		
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	0		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	0		

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	2			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1			
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0			
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8	0			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0			
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	1			
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0			
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	0			
	関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0		
		㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8	0		
㉓		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	1			
㉔		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4	0			
㉕		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	2			
㉖		移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	2			
㉗		他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	4			
㉘		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	5			

	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	4		
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0		
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	3		
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	2		
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8	0		
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	1		
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	4		
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0		
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0		
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	8	0		
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0		
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	5		
	非常時の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに発生を想定した訓練を実施している	8	0	
④2		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0		
④3		事前に服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8	0		

④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	0		
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	3		
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0		
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	4		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表： 平成31年3月4日

事業所: 第2あづみ園

保護者等数(児童数)

46

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	29	3	1	1	○施設内は子どもにとって丁度良い広さで活動もしやすい。 ○広いので大丈夫です。親子活動の時は、やはり親もいるので通り道がないほど狭いです。 ○親子クラスで人数が増えてから時々狭いかなと思うことがある。 ○もう一室くらいほしい。 ○人数に対して十分なスペースが確保されています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	29	3	0	2	○子どもの人数に対して十分です。 ○親子クラスで人数が増えてから、少ないのではと思うことがあった。 ○心理士、言語聴覚士さんなどおられるので適切だと思う。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	32	1	0	1	○イチゴの部屋などわかりやすく分けられているので良い。 ○もう少し活動してみないとわからないです。 ○すべて鍵がついていたり、てを詰めないような作
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	33	1	0	0	○隅々までいつもきれいにされています。お花もきれいです。 ○きれいにされてる。 ○毎日掃除をされていてきれいにされていると思
	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	34	0	0	0	○その時の課題に踏まえて作成されている。 ○わかりやすく書かれている。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	30	2	0	2	○支援内容も具体的にどうすればよいと書いてわかりやすい。

適切な支援の提供	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	32	1	0	1	○若い子どもへの配慮と障害への支援の両極を見るためにはせんせいへの目が行き届いていない部分があるように思います
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	28	3	0	3	○保育内容がわが子には低いように感じた。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	18	3	4	9	○毎回色々な活動をしていただき、こどもにとっても良い経験になります。 ○保育所とカンファレンス等でしっかり連携がとれている。 ○交流の機会はないと思う。 ○併行通園しているので交流はあるがもう少し幼稚園との連携をとってほ
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	28	4	0	2	
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	31	1	0	2	
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	25	2	3	4	○母子からの通園で親子活動の目的が不透明で参加したほうが良いと思うまでに至っていない。 ○去年と比べ各段に減って残念に思っています。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	31	3	0	0	○先生全員が子供のことをよく知っていて下さり、安心して通園することが出来ています。 ○個人懇談でよく話せている。 ○こちらから聞かないとなかなか先生からお話がないので共通理解は完全ではない。
	⑭	定期的に保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	32	2	0	0	○育児について毎回の確な助言をしてくださり、保護者もとても勉強になります。 ○懇談、カンファレンス等にちゃんと話されている。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	22	4	2	6	○保護者同士でこんな支援がよかったなど、話せる状況ではない。 ○季節に応じて様々な行事があった。都合で不参加が続いたが参観後、懇談会があつてよかった。

	⑯ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	28	3	0	3	○相談したことをすぐに取り入れてくださる。 ○個人指導の時に話せるくらいで送迎の時や連絡帳に書いて相談する時間もスペースもないように思います。 ○何か困ったことなど相談すると、その場で回答していただけるのでありがたい。
	⑰ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	32	1	0	1	○その日の出来事や様子などを送迎の際に教えてください助かっています。 ○もう少し情報伝達していただきたい
	⑱ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	23	4	0	7	○毎月の予定や活動内容を写真付きではいふしていただき、毎回楽しく拝見しています。 ○毎月お便りを下さりどんな遊びをするのかわかる。 ○園だよりのことなら毎月読ませてもらっている。業務に関する評価の結果が良くわからないです
	⑲ 個人情報の取扱いに十分注意されているか	26	3	1	4	○個人名が描かれている物を使っていることがある。 ○フルネームの漢字で廊下に貼ってあるので十分注意されているのに見えます
非常時等の対応	⑳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	19	2	3	10	○マニュアルはないのではないかと思う。
	㉑ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	19	3	1	11	○水害などを想定して保護者にていねいに説明をしていただきました。 ○全てではないが年齢に応じた内容でされていると思う。
	㉒ 子どもは通所を楽しみにしているか	28	3	2	1	○あづみ園のお友達の名前もよく出て来て登園を嫌がることもないです。 ○わからないことに対してゆっくり丁寧に教えてもらえる安心感から毎日でも通いたいと思っている。 ○登園してしまえば楽しく過ごしていると聞いているが、基本的には登園を楽しみにしていることはほぼない。

足度		27	5	1	1	<p>○困ったことを相談しやすく、個人個人にあったアドバイスをしてくれるのでとても感謝しています。子どもも成長しています。</p> <p>○個別指導の日に病気欠席した時、振りかえてほしかった。</p> <p>○勉強をする機会が大幅に減り相談もしにくくなりました。集中学習会や参観学習会等を復活してほしい。</p> <p>○どちらかといえば満足しているが多少物足りなさを感</p>
	㊸ 事業所の支援に満足しているか					

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。





割合 74%

ご意見を踏まえた対応
スペースは確保できているので効率よく利用できるように配慮していく。

保護者と一緒に考えられるようにモニタリングをする際に意見を求めていく。

保護者と一緒に考えられるようにモニタリングをする際に意見を求める。

併行先との連携は年間を通して計画する。



保護者向けの学習会を親子活動の際に設定していく。

「発達支援評価表」